

沿岸定線観測速報 ちば (2023年7月)

千葉丸：7月3～5日

千葉県水産総合研究センター
千葉県農林水産技術会議
令和5年7月11日

黒潮は、房総東方を接岸して流れていました (図2)。
水温は、水深0mは平年並でしたが、50m以深は平年より高め基調でした (表1)。

【詳細】

水温は、銚子・九十九里海域では、水深0mは平年並、水深50,100,200mは平年よりやや高めでした。外房海域では、水深0,50mは平年並、水深100mは平年よりやや高め、水深200mは高めでした (表1)。
水深10,100,200mでは、比較的沿岸の海域に顕著な水温勾配 (フロント) が見られました (図3)。また、水深10mの塩分は、7月1日の降雨の影響により、比較的沿岸が34.2PSU以下になっていました (図4)。一方、下層の水深400～500mでは、犬吠埼沖及び九十九里沖に8℃以下、塩分34.2PSU以下の低温低塩分水が分布していました (図5～6)。
黒潮は、小さく蛇行しながら、房総東方を接岸して流れていました。房総東方の黒潮縁辺付近では北東へ向かう2～4ノットの流れが見られました (図2)。
クロロフィル濃度は、水深10mではごく沿岸が3μg/L以上と高めになっていました。一方、水深50mではこのような高いクロロフィル濃度は見られませんでした (図7)。
勝浦沖、銚子沖のキンメダイ漁場は、いずれも海面から底層まで前年より水温が4～9℃高めでした (図8)。

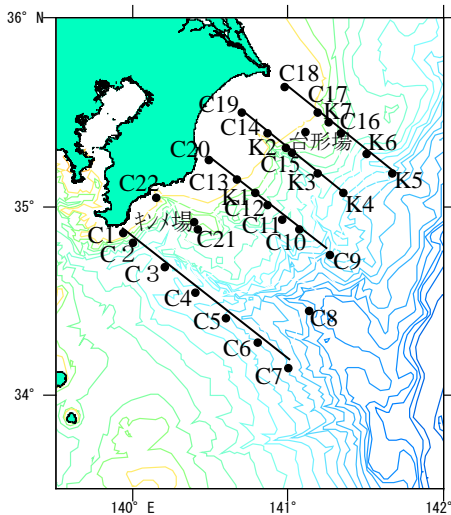


図1 調査点 (C21は欠測)

線は北から犬吠埼, 九十九里, 太東岬, 野島埼南東線

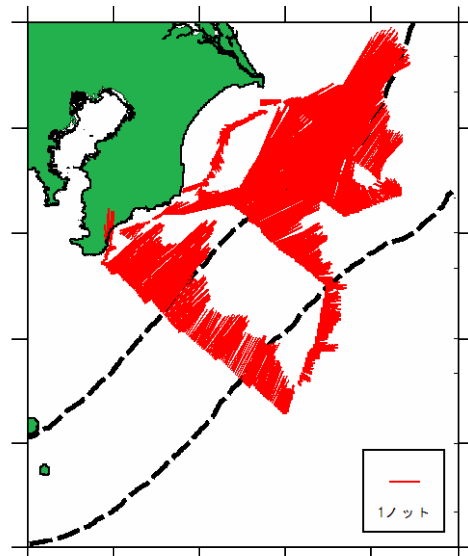


図2 黒潮流路 (破線) と流況

表1 海域別平均水温 (℃) と評価

海域	0m	50m	100m	200m
銚子・九十九里	22.91 平年並	20.86 やや高め	17.74 やや高め	15.24 やや高め
外房	23.22 平年並	19.29 平年並	17.45 やや高め	16.62 高め

* 水温評価点 銚子・九十九里海域：C14～20 計7点, 外房海域：C1,3,11,13,21,22 計6点

* 沿岸水温評価の目安 (σ：標準偏差)

きわめて高め	2.0 σ～
高め	1.3 σ～2.0 σ
やや高め	0.6 σ～1.3 σ
平年並	0.0 σ～0.6 σ, -0.6 σ～0.0 σ
やや低め	-0.6 σ～-1.3 σ
低め	-1.3 σ～-2.0 σ
きわめて低め	-2.0 σ～

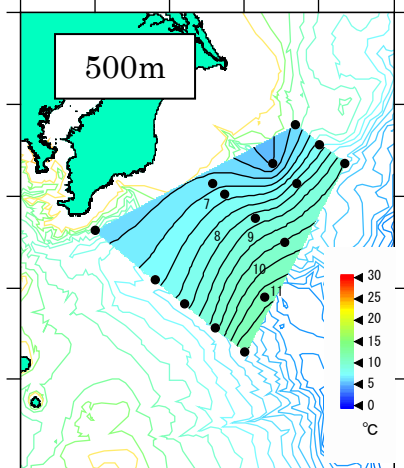
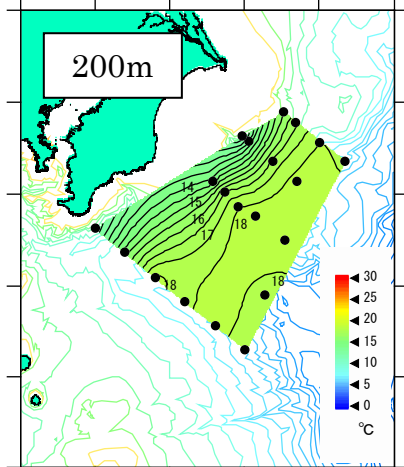
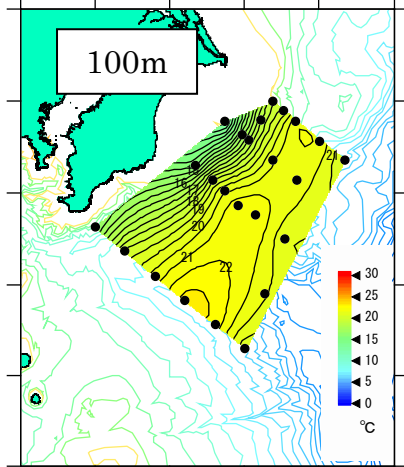
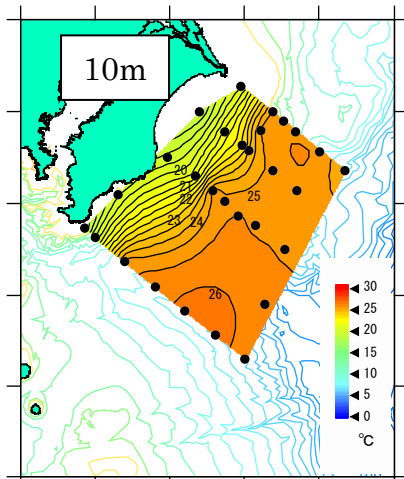


図3 水深別の水温分布

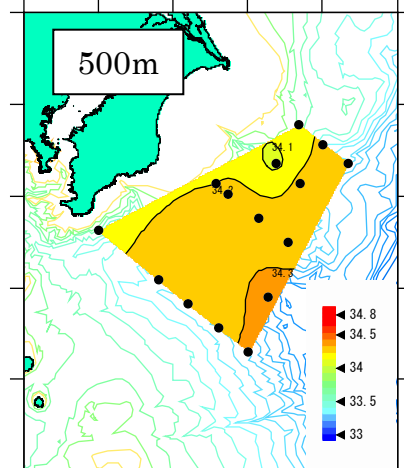
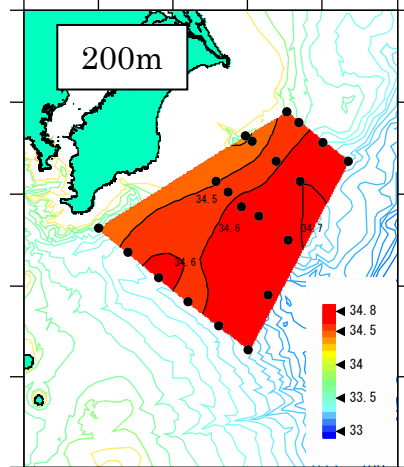
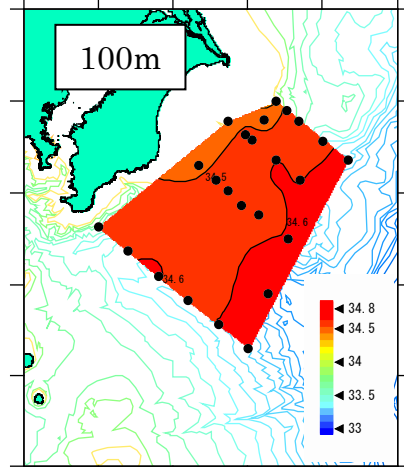
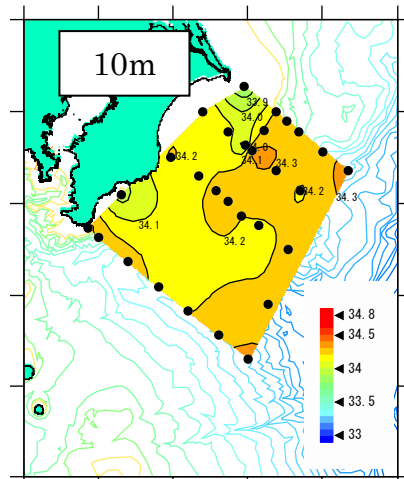


図4 水深別の塩分分布

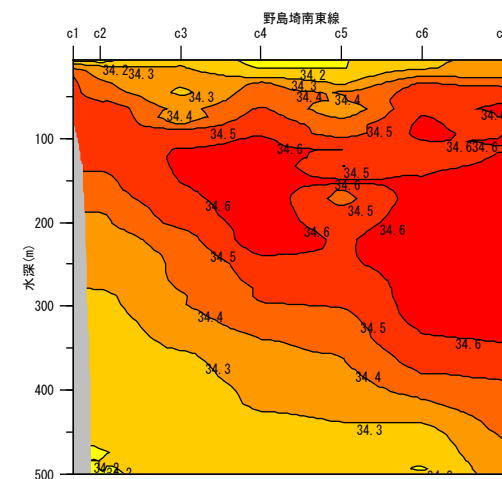
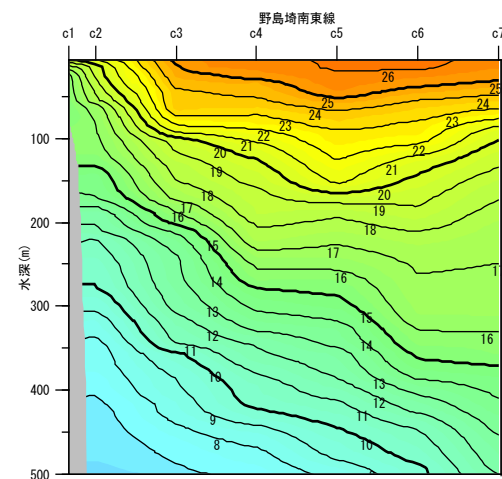
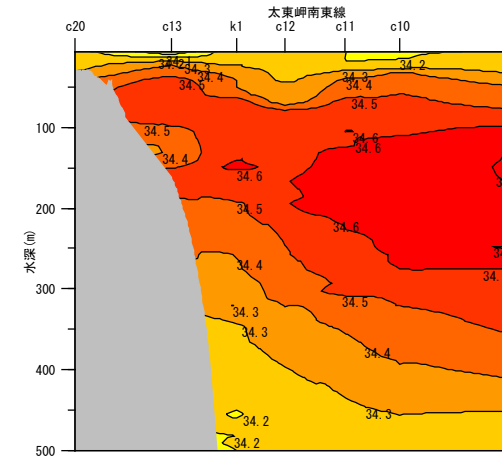
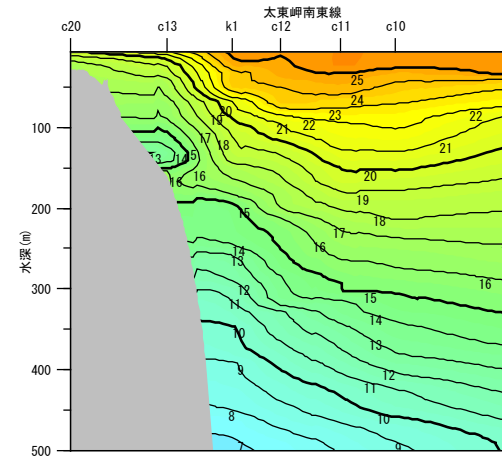
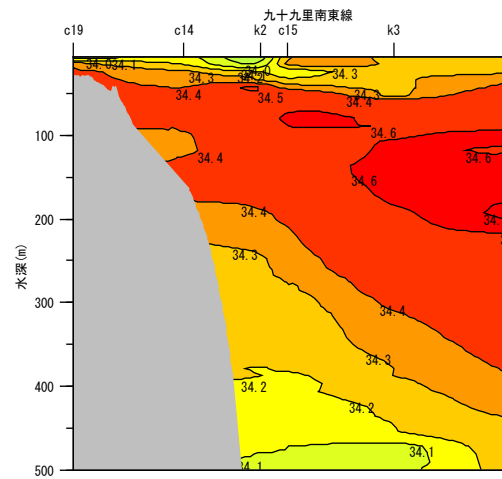
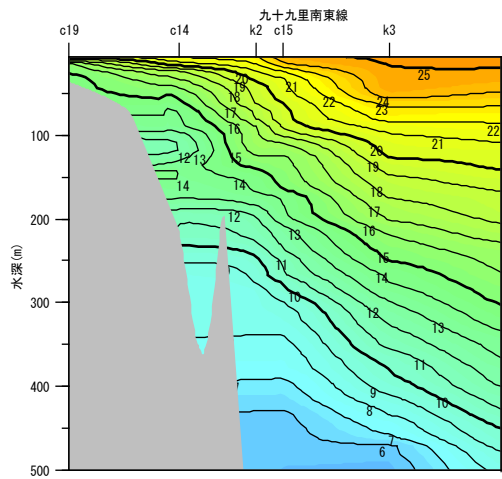
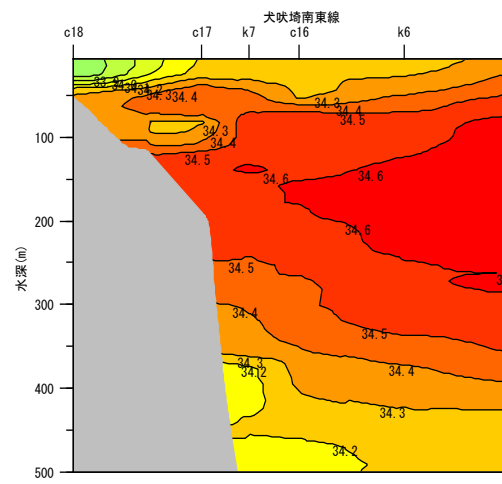
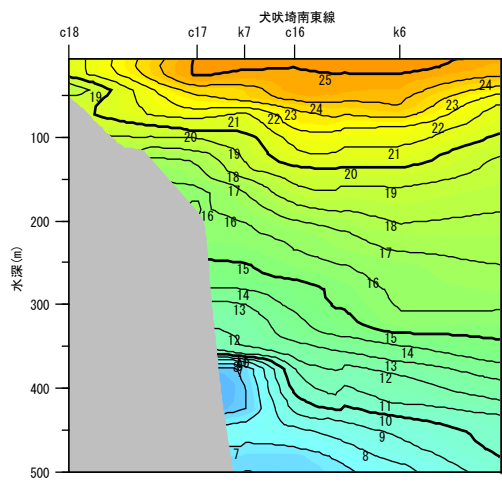
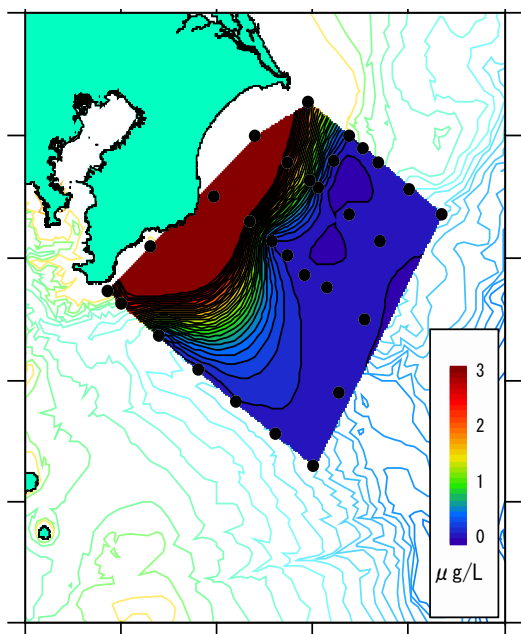


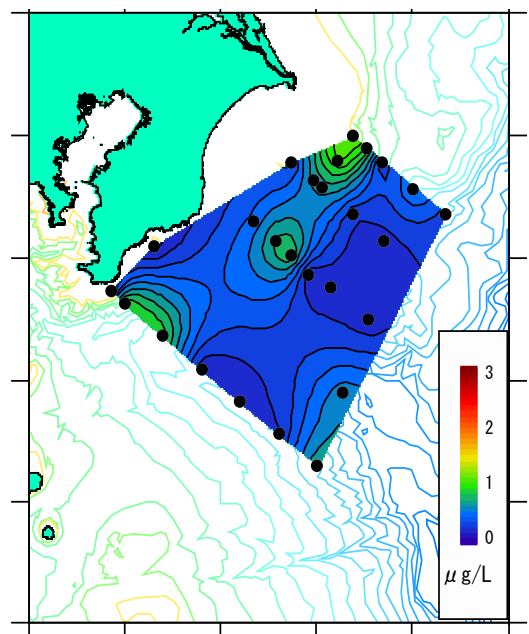
図5 水温鉛直分布

図6 塩分鉛直分布

上から犬吠埼，九十九里，太東埼，野島埼南東線（図1参照）

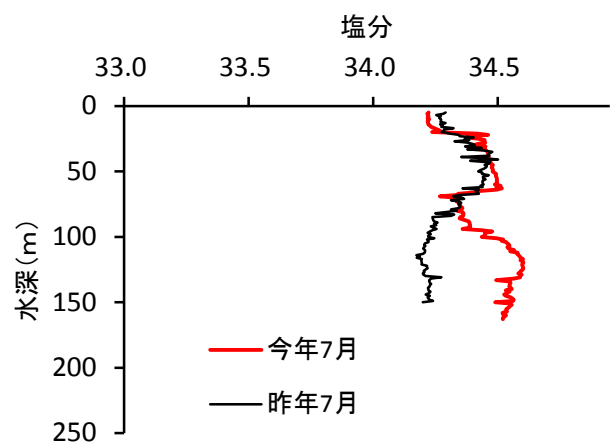
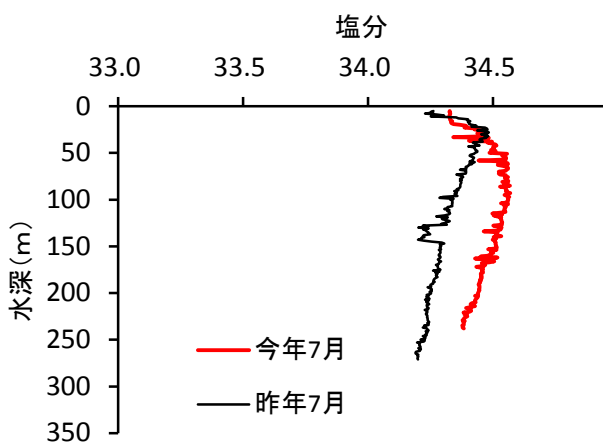
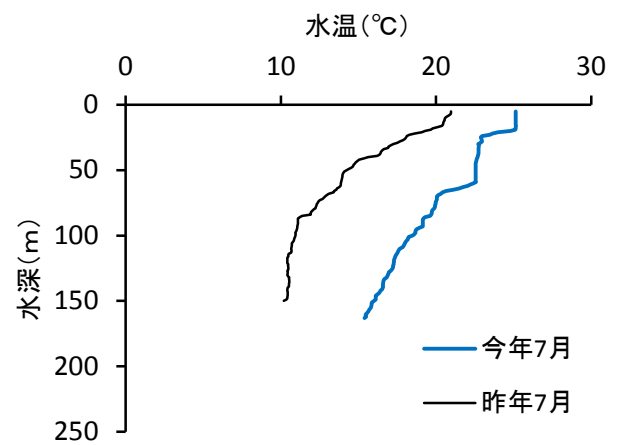
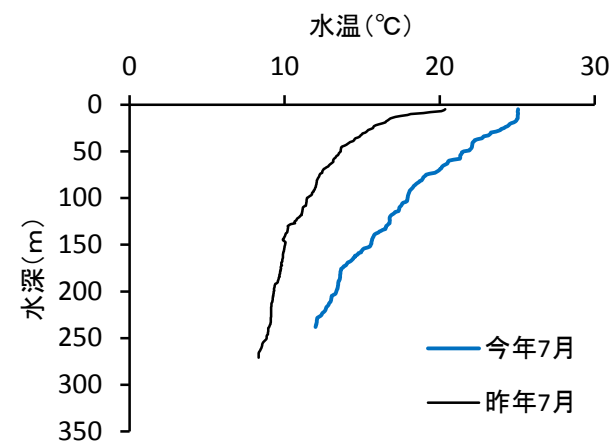


10m



50m

図7 水深別のクロロフィル分布 (単位: $\mu\text{g/L}$)



勝浦沖キンメ場

銚子沖キンメ場 (台形場)

図8 キンメダイ漁場の水温, 塩分鉛直分布 (青: 水温, 赤: 塩分)